



貨物船の船内を見学する子ども＝
小松島市小松島町の徳島小松島港

船乗りの仕事に

児童ら興味津々

小松島で貨物船見学会

海運業や船乗りの仕事に興味を持ってもらおうと、小中学生向けの貨物船見学会が5日、小松島市小松島町新港の徳島小松島港で開かれた。保護者や教育関係者を含めた約40人が参加した。

阿南市内の内航海運業者や経済団体などでつくる「ふなどころ阿南まちづくり協議会」が企画。佐野海運(同市)が協力し、所有

する貨物船「第五大栄丸」を係船した。

参加者は船員や協議会のスタッフに案内され、操舵室やエンジンルーム、貨物室、船員の居住区などを見学。船内の機械や機関士・航海士の業務内容、貨物の積載可能量などについて説明を受けた。

福井小5年の国尾修人さん(10)は「船は二酸化炭素を出す量が少ないので環境にいいと授業で習った。見学して興味が強くなったので、動かしてみたくなった」と話した。